

# 第1日目 3月15日(土)

## A会場（一橋記念講堂）

※一般参加の方は  のプログラム（市民公開プログラム）にご参加いただけます。

### 開会式

9:55~10:00

会長挨拶 長江 弘子（千葉大学大学院看護学研究科エンド・オブ・ライフケア看護学）

### 学会活動推進委員会 第2回公開講座

『エンド・オブ・ライフケア—市民と専門家の協働・連携—』

10:00~12:00

講演1：エンド・オブ・ライフケアを地域で効果的に進めるための多職種連携のあり方

講師：福井 小紀子（日本赤十字看護大学）

講演2：市民と専門家の対話を促進するエンド・オブ・ライフケアモデルの提案

講師：増島 麻里子（千葉大学）

### 市民公開プログラム：特別講演

『自分らしく、歌とともに』

13:20~14:50

講師：冴木 杏奈（タンゴ歌手・女優）

### 市民公開プログラム：シンポジウムI

『在宅ケアと臨床倫理：認知症とエンド・オブ・ライフケア—その人にとっての最善を考える—』

15:00~17:00

座長：諏訪 さゆり（千葉大学）

コメンテーター：箕岡 真子（箕岡医院 医師）

パネリスト：横江 由理子（国立長寿医療センター 看護師）

大澤 誠（大井戸診療所 医師）

本村 真佐子（ハンズケアプラン 介護支援専門員）

### 市民公開プログラム：映画上映

『「わたし」の人生（みち）～我が命のタンゴ～』

17:10~19:00

ご挨拶：和田 秀樹 監督（精神科医、国際医療福祉大学教授）

## B 会場（中会議場 3・4）

交流集会 A-2

『地域で活動する専門看護師・認定看護師の集い』

12:10～13:10

山田 雅子（聖路加看護大学）

平原 優美（あすか山訪問看護ステーション総括所長）

一般演題 『地域生活支援』

（中会議場 3）15:00～16:20

座長：岡田 進一

01-1 「メディカルケアネット西宮」～行政との協働による医療介護連携推進～

○山崎 和代<sup>1</sup>、中東 初美<sup>2</sup>

<sup>1</sup>西宮市社会福祉事業団 訪問看護科、<sup>2</sup>西宮市役所 介護サービス課

01-2 在宅移行時における施設と地域看護職間連携の課題～在宅移行時において  
病院看護師が留意していること、困難なことから～

○樋口 キエ子

順天堂大学医療看護学部

01-3 過疎地域における地域包括ケアの検討

○杉井 たつ子

常葉大学健康科学部

01-4 要支援高齢者の生活機能の実際とその階層性を評価する指標の検討

○井上 高博、増田 容子、山口 善子

活水女子大学看護学部

01-5 生活保護受給高齢者の在宅ケアにおける効果的な支援

○谷山 牧<sup>1</sup>、蓮井 貴子<sup>2</sup>、小市 理恵子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科、<sup>2</sup>三重県看護協会、

<sup>3</sup>淑徳大学看護栄養学部看護学科

01-6 在宅高齢者の食生活－食生活への意識と課題－

○森山 悦子

福井医療短期大学 看護学科

- 02-1 会話を中心とした訪問看護の実践  
○谷垣 和代<sup>1</sup>、田川 由香<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>津田沼老人訪問看護ステーション、<sup>2</sup>津田沼中央総合病院
- 02-2 訪問看護師、主治医、皮膚科専門医、フットケア看護師等の連携による在宅療養者の足・爪白癬のケアと治療の有効性 (2)  
○内田 恵美子<sup>1</sup>、福山 由美<sup>2</sup>、高山 かおる<sup>3</sup>、佐々木 明子<sup>4</sup>、津田 紫緒<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>株式会社日本在宅ケア教育研究所、<sup>2</sup>三重県立看護大学地域在宅看護学  
<sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野  
<sup>4</sup>東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科地域保健看護学分野
- 02-3 療養者・家族のニーズに応える排痰ケアとは—熟練訪問看護師の看護実践の参与観察から—  
○阪上 由美、後閑 容子、石橋 文枝  
摂南大学看護学部看護学科
- 02-4 都市部における在宅療養者の足・爪白癬の実態 (1)  
○佐々木 明子<sup>1</sup>、内田 恵美子<sup>2</sup>、高山 かおる<sup>3</sup>、福山 由美<sup>4</sup>、津田 紫緒<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科地域保健看護学分野  
<sup>2</sup>株式会社日本在宅ケア教育研究所  
<sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学分野、<sup>4</sup>三重県立看護大学地域在宅看護学
- 02-5 地域で生活する高齢糖尿病腎症透析患者の社会活動と健康関連 QOL の実態  
○柏木 久美子<sup>1</sup>、結城 美智子<sup>2</sup>、高瀬 佳苗<sup>2</sup>、畠山 とも子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学大学院 看護学研究科、<sup>2</sup>福島県立医科大学 看護学部

イブニングセミナー 3

実践事例検討会 『生活と医療を統合する看護実践セミナー』

(中会議場 3) 17 : 10~19 : 00

- 酒井 昌子 (聖隷クリストファー大学)  
乗越 千枝 (岡山大学)  
谷垣 静子 (岡山大学大学院)  
片山 陽子 (香川県立保健医療大学)  
岡田 麻里 (県立広島大学)  
仁科 祐子 (鳥取大学)  
池本 典子 (千葉大学大学院)  
長江 弘子 (千葉大学大学院)

## イブニングセミナー4

研究知見の実践活用『テレナーシングの実際』

(中会議場4) 17:10~19:00

亀井 智子 (聖路加看護大学)

梶井 文子 (聖路加看護大学)

## C会場 (中会議場1・2)

### 交流集会 A-1

医療と介護の連携推進に向けた政策的動向と各地域の取組み

: 在宅医療連携拠点事業を発端として

12:10~13:10

福井 小紀子 (日本赤十字看護大学)

後藤 友美 (厚生労働省医政局指導課在宅医療推進室在宅看護専門官)

後藤 友子 (国立長寿医療研究センター 在宅連携医療部)

井上 多鶴子 (板橋区医師会在宅医療センター 在宅看護部長)

### 一般演題 『訪問看護支援』

(中会議場1) 15:00~16:00

座長: 上野 まり

#### 03-1 訪問看護ステーションおよび訪問看護事業部に勤務する看護師の高齢者看護の必要性の認識と実施状況

○渡辺 幸枝、千田 睦美、小島 美沙子

岩手県立大学看護学部

#### 03-2 訪問看護師が把握した療養者・家族の実習受け入れの反応

○横山 詞果<sup>1</sup>、牛久保 美津子<sup>1</sup>、飯田 苗恵<sup>2</sup>、小笠原 映子<sup>3</sup>、田村 直子<sup>4</sup>、

斎藤 利恵子<sup>5</sup>、棚橋 さつき<sup>4</sup>

<sup>1</sup>群馬大学大学院保健学研究科看護学講座、<sup>2</sup>群馬県立県民健康科学大学看護学部看護学科

<sup>3</sup>群馬パース大学保健科学部看護学科、<sup>4</sup>高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科

<sup>5</sup>足利短期大学看護学科

#### 03-3 訪問看護師による不安への援助

○山本 則子<sup>1</sup>、谷口 奈央<sup>2</sup>、岡本 茂雄<sup>2</sup>、立花 弥生<sup>2</sup>、池田 洋美<sup>2</sup>、川上 真紀<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科 成人・緩和ケア看護学分野

<sup>2</sup>セントケア・ホールディング株式会社

- 03-4 男性介護者による在宅要介護者への食事支援と訪問看護の課題  
—要介護者における食品摂取の多様性との関連から—  
○河村 未穂<sup>1</sup>、島内 節<sup>2</sup>、成 順月<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>広島文化学園大学大学院看護学研究科 博士前期課程、<sup>2</sup>広島文化学院大学大学院看護学研究科
- 03-5 在宅ターミナルケアにおける医療ITの使用経験～訪問看護師の業務不安軽減への  
試み～  
○佐々木 美奈子<sup>1</sup>、山村 修<sup>2</sup>、小練 研司<sup>3</sup>、山内 順子<sup>4</sup>、山下 芳範<sup>5</sup>、木村 嘉明<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>シンシアパーム株式会社 シンシア訪問看護ステーション  
<sup>2</sup>福井大学医学部 地域医療推進講座、<sup>3</sup>福井大学医学部 消化器外科  
<sup>4</sup>福井大学医学部附属病院 看護部、<sup>5</sup>福井大学医学部附属病院 医療情報部  
<sup>6</sup>社団法人福井県薬剤師会 すいせん薬局

**一般演題 『在宅看護教育・災害』**

**(中会議場 2) 15:00～16:00**

座長：佐々木 明子

- 04-1 在宅看護学教育における演習プログラムの評価  
○小野 恵子、小笠原 映子  
群馬パース大学保健科学部看護学科 (在宅看護学)
- 04-2 在宅看護実習における学生の学び—第1報 学生の実習レポート分析より—  
○鶴見 三代子、綾部 明江、長澤 ゆかり  
茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科
- 04-3 訪問看護職の研修ニーズに対する看護大学の教育的支援と評価  
○菊地 ひろみ<sup>1</sup>、スーディ神崎 和代<sup>2</sup>、照井 レナ<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>札幌市立大学看護学部、<sup>2</sup>札幌市立大学、<sup>3</sup>旭川医科大学
- 04-4 看護過程の紙上事例からみた看護学生の退院支援に関するアセスメントの視点  
○堂本 司、実藤 基子  
日本赤十字広島看護大学 基礎看護学
- 04-5 東日本大震災時の外来看護・訪問看護—首都圏に住む重度障碍児者の  
防災対策の検討—  
○山本 美智代<sup>1</sup>、中川 薫<sup>2</sup>、石上 ゆか<sup>3</sup>、加藤 久美子<sup>4</sup>、大久保 嘉子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>首都大学東京 健康福祉学部 看護学科、<sup>2</sup>首都大学東京 都市教養学部  
<sup>3</sup>重症心身障害児在宅療育支援センター—東部訪問看護事業部  
<sup>4</sup>心身障害児総合医療療育センター
- 04-6 原子力災害時における訪問看護ステーション職員の経験  
○成田 玲子<sup>1</sup>、木立 るり子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>弘前大学大学院保健学研究科博士前期課程、<sup>2</sup>弘前大学大学院保健学研究科

イブニングセミナー1 生涯教育セミナー 生涯教育委員会企画

『詳しく知りたい「地域包括ケアシステム」』

(中会議場1) 17:10~19:00

服部 万里子 (一般社団法人日本ケアマネジメント学会 副理事長)

辻 彼南雄 (水道橋東口クリニック)

佐藤 美穂子 (日本訪問看護財団)

イブニングセミナー2 看護・介護技術スキルアップセミナー

『持ち上げない介護の実際』

(中会議場2) 17:10~19:00

保田 淳子 (社団法人 日本ノーリフト協会)

## 第2日目 3月16日(日)

### A会場 (一橋記念講堂)

総会	9:30~10:30
----	------------

#### 会長講演

『看護実践に生かすエンド・オブ・ライフケア』

10:30~11:00

座長：麻原 きよみ（聖路加看護大学）

演者：長江 弘子（千葉大学）

#### 教育講演1

『地域包括ケアと共生のまちづくり—オランダを手がかりに』

11:10~12:10

座長：谷垣 静子（岡山大学）

演者：堀田 聡子（労働政策研究・研修機構）

#### 教育講演2

『生活の場での協働／専門職性』

12:20~13:20

座長：吉本 照子（千葉大学）

演者：三井 さよ（法政大学）

#### 論文賞授賞記念講演

13:30~14:00

『在宅療養における胃瘻への家族対処；二重 ABCX モデルに基づく分析』

演者：吉松 恵子（島根県立大学看護学部）

中谷 久恵（広島大学大学院医歯薬保健学研究院）

『在宅ターミナルケアにおける訪問看護師とのかかわりがもたらす介護者の思いの変化』

演者：黒澤 泰子（黒沢クリニック）

河原 加代子（首都大学東京大学院人間健康科学研究科）

#### シンポジウムⅡ

『「その人らしさ」を支えるチームアプローチ』

14:10~16:10

座長：辻 彼南雄（水道橋東口クリニック）

秋山 正子（株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション）

会長挨拶 長江 弘子（千葉大学大学院看護学研究科エンド・オブ・ライフケア看護学）

次期会長挨拶

第19回大会（2014年度）学術集会・総会

小野 ミツ（九州大学大学院）

第20回大会（2015年度）学術集会・総会

亀井 智子（聖路加看護大学）

## B会場（中会議室3・4）

### 交流集会 B-1

『訪問看護ステーションにおける継続教育の機能向上—新卒訪問看護師育成の実践事例から—』

（中会議場3）13:30~14:20

吉本 照子（千葉大学）

辻村 真由子（千葉大学）

### 一般演題『エンド・オブ・ライフケア』

（中会議場3）14:30~15:30

座長：山田 雅子

#### ○5-1 在宅グリーフケアのあり方に関する一考察

○森 扶由彦<sup>1</sup>、藤原 秀子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>新潟青陵大学福祉心理学科、<sup>2</sup>日本福祉大学リハビリテーション学科

#### ○5-2 独居高齢者の在宅看取りを支援する訪問看護の役割～KOMIチャートシステムによる事例の分析から～

○魚崎 須美<sup>1</sup>、曾我部 ゆかり<sup>2</sup>、津村 智恵子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>兵庫県芦屋健康福祉事務所、<sup>2</sup>門真市役所、<sup>3</sup>甲南女子大学

#### ○5-3 終末期がん患者とその家族への在宅療養移行における支援内容とその評価～遺族のインタビューから～

○河野 政子<sup>1</sup>、岡本 双美子<sup>2</sup>、梅田 信一郎<sup>3</sup>、大坪 よし子<sup>4</sup>、石川 奈名<sup>5</sup>、  
松延 さゆり<sup>6</sup>、川口 いずみ<sup>7</sup>、上原 美智代<sup>8</sup>

<sup>1</sup>近畿大学医学部附属病院 患者支援センター、<sup>2</sup>大阪府立大学 地域保健学域 看護学類、

<sup>3</sup>梅田クリニック、<sup>4</sup>大坪医院、<sup>5</sup>ベルランド総合病院、<sup>6</sup>大阪労災病院、<sup>7</sup>和泉市立病院、

<sup>8</sup>ロイヤル訪問看護ステーション

#### ○5-4 がん終末期の在宅療養者が在宅死となる要因の抽出～決定木分析から～

○川野 英子<sup>1</sup>、福井 小紀子<sup>2</sup>、大園 康文<sup>3</sup>、藤田 淳子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>日本赤十字看護大学大学院看護学研究科、<sup>2</sup>日本赤十字看護大学看護学科

<sup>3</sup>順天堂大学医療看護学部

○5-5 訪問看護師による終末期在宅療養者への意思確認と介入の実態

○片山 陽子<sup>1</sup>、原 明美<sup>2</sup>、安部 美枝子<sup>3</sup>、尾崎 美智<sup>4</sup>、側瀬 文恵<sup>5</sup>、松本 登紀子<sup>6</sup>

<sup>1</sup>香川県立保健医療大学保健医療学部、<sup>2</sup>三豊総合病院、

<sup>3</sup>香川県看護協会訪問看護ステーションこくぶ、<sup>4</sup>滝宮総合病院、

<sup>5</sup>高松市地域包括支援センター、<sup>6</sup>高松赤十字病院

交流集会 B-2

『Be Myself : その人らしい人生の終え方について語ろう—人生にとっての最善は？』

意思決定と支援に重要な訪問看護師の予後予測—』

(中会議場 4) 13 : 30~14 : 20

片山 陽子 (香川県立保健医療大学)

齋藤 信也 (岡山大学大学院)

長江 弘子 (千葉大学大学院)

酒井 昌子 (聖隷クリストファー大学)

一般演題『認知症ケアと家族支援』

(中会議場 4) 14 : 30~15 : 45

座長 : 原 礼子

○6-1 家族介護者の介護力向上における看護支援の検討

○櫛 直美<sup>1</sup>、尾形 由起子<sup>1</sup>、田淵 康<sup>2</sup>、横尾 美智代<sup>3</sup>

<sup>1</sup>福岡県立大学看護学部、<sup>2</sup>佐賀大学医学部、<sup>3</sup>西九州大学健康福祉学部

○6-2 家族介護者における判断困難性と医療専門職支援の影響～健康状態の変調に対応する介護経験の分析～

○堀 由美子<sup>1</sup>、齋藤 君枝<sup>2</sup>

<sup>1</sup>長岡看護福祉専門学校(元訪問看護ステーションみつごうや)、<sup>2</sup>新潟大学医学部保健学科

○6-3 在宅で認知症を有する療養者を介護する男性介護者の対処尺度の検討

○西尾 美登里<sup>1</sup>、小野 ミツ<sup>2</sup>、影山 佳奈<sup>1</sup>

<sup>1</sup>九州大学医学系学府保健学専攻博士後期課程

<sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野

○6-4 『独居認知症高齢者に対するケアマネジメント実践』を測定する項目の検討

○浅川 典子<sup>1</sup>、細谷 たき子<sup>2</sup>、小林 淳子<sup>2</sup>、叶谷 由佳<sup>3</sup>

<sup>1</sup>埼玉医科大学保健医療学部看護学科、<sup>2</sup>山形大学医学部看護学科、

<sup>3</sup>横浜市立大学医学部看護学科

○6-5 認知症独居高齢者の在宅生活継続のための地域包括支援センター看護職のかかわり

○岩原 由香

日本赤十字看護大学大学院修士課程看護学研究科

## C 会場（中会議場 1・2）

ポスター掲示時間 10:00～15:30

質疑応答時間 10:30～11:00

第1群『在宅ケアを支える技術』

ケアマネジメント[4題]

PA-1 老健施設での在宅復帰に関するケアスタッフの意識調査

○藏並 政美

上尾中央医科グループ ハートケア横浜小雀

PA-2 訪問看護ステーション実習が病棟看護師の退院支援実施状況にもたらす効果

○伊藤 翠<sup>1</sup>、錦織 梨紗<sup>1</sup>、永田 智子<sup>1</sup>、戸村 ひかり<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院 医学系研究科 地域看護学分野、<sup>2</sup>首都大学東京 健康福祉学部 看護学科

PA-3 退院支援係を有する病院の特徴と病棟看護師の退院支援への取り組みに及ぼす効果

○錦織 梨紗<sup>1</sup>、伊藤 翠<sup>1</sup>、永田 智子<sup>1</sup>、戸村 ひかり<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学大学院 医学系研究科 地域看護学分野、<sup>2</sup>首都大学東京 健康福祉学部 看護学科

PA-4 中高年の中途視覚障がい者の生活適応における思い

○橋本 美香、鈴木 みわの

山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科

ポスター掲示時間 10:00～15:30

質疑応答時間 10:30～11:00

第1群『在宅ケアを支える技術』

在宅ケア技術[6題]

PB-1 訪問看護サービスを利用している在宅高齢者の浮腫とケアの実態

○田中 敦子<sup>1</sup>、木村 伸子<sup>2</sup>、河内 香久子<sup>3</sup>、小林 泉<sup>4</sup>、福山 由美<sup>5</sup>、

加賀田 聡子<sup>6</sup>、木村 圭一<sup>7</sup>

<sup>1</sup>東洋大学人間科学総合研究所、<sup>2</sup>埼玉県立大学保健医療福祉学部、<sup>3</sup>治療室シーズ、

<sup>4</sup>埼玉県立がんセンター、<sup>5</sup>三重県立看護大学看護学部、<sup>6</sup>国立看護大学校、<sup>7</sup>埼玉協同病院

PB-2 誤嚥性肺炎予防ケアのための呼吸アセスメントツールの有用性の検討

○藤田 淳子

日本赤十字看護大学

PB-3 フットケア研修前後における足・爪白癬ケアの変化と今後の課題

○福山 由美<sup>1</sup>、内田 恵美子<sup>2</sup>、佐々木 明子<sup>3</sup>、高山 かおる<sup>4</sup>、津田 紫緒<sup>3</sup>

<sup>1</sup>三重県立看護大学 地域在宅看護学、<sup>2</sup>株式会社日本在宅ケア教育研究所、

<sup>3</sup>東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科地域保健看護学分野、

<sup>4</sup>東京医科歯科大学大学医学部附属病院皮膚科

- PB-4 在宅高齢療養者の誤嚥性肺炎の食事に関する介護の現状と課題～訪問看護及び  
 居宅支援事業者を利用する療養介護者への調査から～  
 ○奥野 みどり<sup>1</sup>、内田 真理子<sup>2</sup>、木部 美智子<sup>3</sup>、藤川 君江<sup>3</sup>、羽鳥 秋子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>群馬パース大学 保健科学部 看護学科、<sup>2</sup>桐生大学 医療保健学部 看護学科、  
<sup>3</sup>訪問看護ステーション粕川
- PB-5 地域で暮らすろう者の診療場面における情報獲得上の困難事項—文献検討—  
 ○村岡 由佳里<sup>1</sup>、島内 節<sup>2</sup>、成 順月<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>広島文化学園大学大学院看護学研究科 博士後期課程  
<sup>2</sup>広島文化学園大学大学院看護学研究科
- PB-6 在宅で重度障がい者を介護する家族が大規模災害への対策に取り組むための支援  
 ○渡邊 香織<sup>1</sup>、佐々木 裕子<sup>2</sup>、横井 真弓<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>居宅介護支援事業所 太陽、<sup>2</sup>愛知医科大学看護学部、<sup>3</sup>訪問看護ステーション太陽

ポスター掲示時間 10:00～15:30  
 第1群『在宅ケアを支える技術』

質疑応答時間 10:30～11:00  
 在宅介護支援[3題]

- PG-1 在宅女性介護者における筋骨格系症状に関する変化：6年間の縦断研究  
 ○堀 容子<sup>1,2</sup>、星野 純子<sup>3</sup>、清水 律子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>ケアラーサポート研究会代表、<sup>2</sup>元名古屋大学大学院医学系研究科、  
<sup>3</sup>公立大学法人岐阜県立看護大学看護学部
- PG-2 在宅認知症ケアにおける情報共有のための訪問看護師向け医看連携支援システムの  
 開発に向けた基礎的研究（第1報）～面接調査に基づく情報共有の現状とニーズ～  
 ○渡邊 久美<sup>1</sup>、山下 亜矢子<sup>1</sup>、村上 礼子<sup>2</sup>、鈴木 千絵子<sup>3</sup>、寺田 整司<sup>4</sup>、横田 一正<sup>5</sup>、  
 東 義晴<sup>6</sup>、大賀 敏子<sup>7</sup>、榮 康行<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>岡山県立大学保健福祉学部、<sup>2</sup>岡山赤十字看護専門学校、<sup>3</sup>関西福祉大学看護学部、  
<sup>4</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経病態学、<sup>5</sup>岡山県立大学情報工学部、  
<sup>6</sup>岡山大学大学院保健学研究科放射線技術科学専攻、<sup>7</sup>すばる訪問看護ステーション、  
<sup>8</sup>さかえ外科内科
- PG-3 在宅認知症ケアにおける情報共有のための訪問看護師向け医看連携支援システムの  
 開発に向けた基礎的調査（第二報）～情報共有シートへの開業医による評価～  
 ○村上 礼子<sup>1</sup>、渡邊 久美<sup>2</sup>、山下 亜矢子<sup>2</sup>、鈴木 千絵子<sup>3</sup>、寺田 整司<sup>4</sup>、横田 一正<sup>5</sup>、  
 東 義晴<sup>6</sup>、大賀 敏子<sup>7</sup>、榮 康行<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>岡山赤十字看護専門学校、<sup>2</sup>岡山県立大学保健福祉学部、<sup>3</sup>関西福祉大学看護学部  
<sup>4</sup>岡山大学大学院医歯薬学総合研究科、<sup>5</sup>岡山県立大学情報工学部、<sup>6</sup>岡山大学大学院保健学研究科、  
<sup>7</sup>すばる訪問看護ステーション、<sup>8</sup>さかえ外科内科クリニック

- PC-4 医療ニーズが高くなるグループホーム入所者がそこで生活し続けることを可能にする  
看護師の関わり - 3 事例の分析から -  
○諏訪部 高江  
浅草医師会立訪問看護ステーション

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 10:30~11:00

第1群『在宅ケアを支える技術』

訪問看護支援[8題]

- PD-1 ICT 導入前における訪問看護ステーション職員の認識に関する調査研究  
○加賀田 聡子<sup>1</sup>、横山 淳一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>国立看護大学校、<sup>2</sup>名古屋工業大学大学院工学研究科
- PD-2 精神疾患をもつ療養者を援助する訪問看護ステーションの訪問看護師が抱く困難  
○井上 智可、林 一美  
石川県立看護大学
- PD-3 自宅以外に訪問する利用者のニーズとケア実践—訪問看護の利用拡大に向けて—  
○西本 祐也<sup>1</sup>、中里 貴江<sup>1</sup>、内田 陽子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>訪問看護ステーション きらくな家、<sup>2</sup>群馬大学大学院保健学研究科
- PD-4 訪問看護利用者の訪問看護サービスの満足度に影響する要因  
○大町 いづみ<sup>1</sup>、下屋敷 元子<sup>2</sup>、金子 和美<sup>3</sup>、船本 太栄子<sup>4</sup>、佐竹 啓子<sup>5</sup>、元平 泉<sup>6</sup>、  
松島 由美<sup>7</sup>、横尾 誠一<sup>1</sup>、藤井 卓<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座、  
<sup>2</sup>長崎県看護協会訪問看護ステーション YOU、<sup>3</sup>長崎県看護協会訪問看護ステーション YOU 東長崎、  
<sup>4</sup>長崎市医師会保健福祉センター訪問看護事業所、  
<sup>5</sup>聖フランシスコ病院会フランシスコ訪問看護ステーション、<sup>6</sup>常葉会訪問看護ステーションながよ、  
<sup>7</sup>小森内科クリニック訪問看護ステーション鳴見、  
<sup>8</sup>藤井外科医院・長崎市訪問看護ステーション連絡協議会
- PD-5 高齢者の小規模事業所における訪問支援活動の効果  
○小嶋 美沙子、工藤 朋子、千田 睦美  
岩手県立大学 看護学部
- PD-6 定期巡回・随時対応型サービス提供者の思いの様相—サービス提供者への  
インタビューから—  
○横内 理乃<sup>1</sup>、佐藤 悦子<sup>2</sup>、依田 純子<sup>2</sup>、泉宗 美恵<sup>2</sup>、須田 由紀<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>医療法人笹本会、<sup>2</sup>山梨県立大学看護学部看護学
- PD-7 精神科訪問看護師のケア困難感とコンサルテーションの在り方について  
○猪谷 生美、西田 志穂  
久留米大学医学部看護学科 地域看護学

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 10:30~11:00

第1群『在宅ケアを支える技術』

慢性疾患と家族ケア[3題]

PE-1 血液透析患者の精神的健康と家族機能に対する認知的評価との関連

○竹本 与志人<sup>1</sup>、杉山 京<sup>2</sup>、仲井 達哉<sup>2</sup>、桐野 匡史<sup>1</sup>、佐藤 ゆかり<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岡山県立大学 保健福祉学部、<sup>2</sup>岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科

PE-2 血液透析患者の主介護者における精神的健康と療養負担感との関連

○杉山 京<sup>1</sup>、仲井 達哉<sup>1</sup>、桐野 匡史<sup>2</sup>、佐藤 ゆかり<sup>2</sup>、竹本 与志人<sup>2</sup>

<sup>1</sup>岡山県立大学大学院 保健福祉学研究科、<sup>2</sup>岡山県立大学 保健福祉学部

PE-3 ALS療養者の介護者が在宅介護を継続する経過で抱く思い

○新井 明子、清水 美和子、棚橋 さつき、田村 直子

高崎健康福祉大学保健医療学部看護学科

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 10:30~11:00

第1群『在宅ケアを支える技術』

在宅小児看護支援[3題]

PF-1 訪問看護師がとらえた留守番看護が患児のきょうだいや母親にもたらす影響

○田中 麻貴<sup>1</sup>、藤原 紀世子<sup>2</sup>、豊田 ゆかり<sup>2</sup>

<sup>1</sup>元愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科、<sup>2</sup>愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科

PF-2 医療的ケアを必要とする子どもの児童デイサービスの利用による発達の変化

○福井 希<sup>1</sup>、豊田 ゆかり<sup>2</sup>

<sup>1</sup>元愛媛県立医療技術大学、<sup>2</sup>愛媛県立医療技術大学 看護学科

PF-3 医療的ケアの必要な子どもの就園・就学に向けた支援-ICFによる情報整理の試み-

○野村 佳代<sup>1</sup>、豊田 ゆかり<sup>2</sup>、枝川 千寿子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>山陽学園大学看護学部看護学科

<sup>2</sup>愛媛県立医療技術大学 保健科学部 看護学科 母性・小児看護学講座

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 12:00~12:30

第2群『地域で支えるエンドオブライフケア』

在宅認知症ケア[8題]

PG-1 認知症グループホーム利用に伴う主介護者の思いの特徴-H14とH24調査の比較-

○小林 和成、瀬藤 朋弥、小島 ひとみ、石原 多佳子

岐阜大学医学部看護学科

PG-2 家族介護者・介護従事者への認知症ケア教育の成果

○小平 めぐみ、竹内 孝仁

国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科

- PG-3 家族介護者を対象とした認知症の症状に対応する自己効力感向上プログラムの効果  
；実施前と2か月後の質問紙調査による評価  
○丸尾 智実<sup>1,2</sup>、河野 あゆみ<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>甲南女子大学看護リハビリテーション学部、<sup>2</sup>大阪市立大学大学院看護学研究科
- PG-4 レビー小体型認知症療養者の家族が経験した薬物療法についての困難  
○湯本 晶代<sup>1</sup>、諏訪 さゆり<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学大学院看護学研究科 訪問看護学教育研究分野 博士後期課程  
<sup>2</sup>千葉大学大学院看護学研究科 訪問看護学教育研究分野
- PG-5 地域で一人暮らしをする認知症高齢者を見出す事例研究  
○松下 由美子  
千里金蘭大学 看護学部 看護学科
- PG-6 地域包括支援センターにおける認知症の人の支援のための諸分野との連携  
○黒田 研二<sup>1</sup>、中尾 正俊<sup>2</sup>、水上 然<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>関西大学 人間健康学部、大阪府医師会 介護・高齢者福祉委員会  
<sup>2</sup>大阪府医師会 理事、<sup>3</sup>神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
- PG-7 認知症高齢者グループホームでの看取り  
○木村 典子  
愛知学泉短期大学
- PG-8 自宅に代わる高齢者ケア施設における認知症高齢者のその人らしい終末期支援の  
ための多職種連携  
○足立 厚子<sup>1</sup>、人見 裕江<sup>2</sup>、中村 陽子<sup>3</sup>、佐々木 純子<sup>4</sup>、田中 久美子<sup>5</sup>、石井 薫<sup>6</sup>  
徳山 ちえみ<sup>7</sup>、原田 俊子<sup>2</sup>、中平 みわ<sup>8</sup>、久山 かおる<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>特別養護老人ホーム グリーンビル夜久野、<sup>2</sup>宝塚大学、<sup>3</sup>園田学園女子大学、  
<sup>4</sup>香川県立保健医療大学、<sup>5</sup>愛媛大学、<sup>6</sup>関西福祉大学、<sup>7</sup>玉野総合医療専門学校、  
<sup>8</sup>梅花女子大学

- PH-1 がん終末期ケアマネジメントにおける看取りへの支援に関する考え  
○原田 静香<sup>1</sup>、丸山 美知子<sup>2</sup>、美ノ谷 新子<sup>3</sup>、柴崎 美紀<sup>4</sup>、山口 豊子<sup>5</sup>、森本 喜代美<sup>6</sup>、宮近 郁子<sup>7</sup>、入野 豊<sup>8</sup>、米澤 純子<sup>9</sup>  
<sup>1</sup>順天堂大学医療看護学部公衆衛生看護学、<sup>2</sup>東邦大学、<sup>3</sup>順天堂大学、  
<sup>4</sup>東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、<sup>5</sup>京都光華女子大学、<sup>6</sup>園田学園女子大学、  
<sup>7</sup>田園調布医師会立訪問看護ステーション、<sup>8</sup>大森山王居宅介護支援事業所、<sup>9</sup>国立保健医療科学院
- PH-2 介護支援専門員が捉えたがん終末期在宅ケアの達成と喜び  
○山口 豊子<sup>1</sup>、原田 静香<sup>2</sup>、丸山 美知子<sup>3</sup>、美ノ谷 新子<sup>2</sup>、柴崎 美紀<sup>4</sup>、米澤 純子<sup>5</sup>、入野 豊<sup>6</sup>、宮近 郁子<sup>7</sup>、森本 喜代美<sup>8</sup>  
<sup>1</sup>京都光華女子大学、<sup>2</sup>順天堂大学、<sup>3</sup>東邦大学、<sup>4</sup>東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、  
<sup>5</sup>国立保健医療科学院、<sup>6</sup>大森山王居宅介護支援事業所、<sup>7</sup>田園調布医師会立訪問看護ステーション、  
<sup>8</sup>園田学園女子大学
- PH-3 特別養護老人ホームでの看取りケアにおける看護・介護職の連携内容  
○江口 恭子<sup>1</sup>、長畑 多代<sup>1</sup>、松田 千登勢<sup>1</sup>、山内 加絵<sup>1</sup>、山地 佳代<sup>1</sup>、笹谷 真由美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪府立大学大学院 看護学研究科 老年看護学分野  
<sup>2</sup>奈良佐保短期大学 生活未来科生活福祉コース
- PH-4 終末期がん患者の被介護体験に対する否定的認知尺度原案の作成  
○大塚 美樹<sup>1</sup>、佐々木 由紀<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>広島大学大学院 医歯薬保健学研究院、<sup>2</sup>日本赤十字広島看護大学大学院看護学研究科
- PH-5 がんと非がんの終末期高齢者の在宅ケア開始期におけるケアニーズと家族介護者満足度  
○山本 純子<sup>1</sup>、島内 節<sup>2</sup>、成 順月<sup>2</sup>、安藤 純子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>広島文化学園大学大学院 看護学研究科博士課程、<sup>2</sup>広島文化学園大学大学院 看護学研究科
- PH-6 在宅ターミナルケアにおける管理職者のスタッフ支援について  
○小澤 美和<sup>1</sup>、内野 聖子<sup>2</sup>、水野 芳子<sup>3</sup>、青木 伸也<sup>4</sup>、平出 由紀<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>帝京科学大学医療科学部看護学科、<sup>2</sup>国際医療福祉大学、<sup>3</sup>名寄市立大学、  
<sup>4</sup>オリーブ訪問看護ステーション、<sup>5</sup>恵比寿訪問看護ステーション
- PH-7 終末期がん患者と家族に対する訪問看護師の支援—在宅療養経過の時期に焦点をあてて—  
○中沢 三貴子<sup>1</sup>、辻村 真由子<sup>2</sup>、島村 敦子<sup>2</sup>、諏訪 さゆり<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程、<sup>2</sup>千葉大学大学院看護学研究科

PH-8 医療職が常駐しない認知症対応グループホームでの看取り～積極的治療を受けないという選択を支える～

○西川 晃子、山口 厚子、吉富 洋子

有限会社くくむ 岩本町訪問看護ステーション

ポスター掲示時間 10:00～15:30

質疑応答時間 12:00～12:30

第2群『地域で支えるエンドオブライフケア』

地域の健康づくり[7題]

PI-1 地域住民に対する便秘予防講座と住民の排便状態 その1—講座の紹介と便秘の実態調査—

○内田 陽子<sup>1</sup>、佐藤 文美<sup>1</sup>、深澤 昌子<sup>1</sup>、設楽 春香<sup>2</sup>

<sup>1</sup>群馬大学大学院保健学研究科、<sup>2</sup>黒澤病院

PI-2 地域住民に対する便秘予防講座と住民の排便状態 その2—排便と排尿状況の関連分析—

○佐藤 文美<sup>1</sup>、内田 陽子<sup>1</sup>、深澤 昌子<sup>1</sup>、設楽 春香<sup>2</sup>

<sup>1</sup>群馬大学大学院保健学研究科、<sup>2</sup>黒澤病院

PI-3 地域住民に対する骨盤底筋体操の3か月間の実施状況と自己評価—各事例の自由記載の質的分析—

○設楽 春香<sup>1</sup>、内田 陽子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>黒澤病院、<sup>2</sup>群馬大学大学院保健学研究科

PI-4 団地で孤立する独居高齢者が住民とつながっていくプロセス

○田中 博子<sup>1</sup>、森實 詩乃<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科、<sup>2</sup>東京工科大学 医療保健学部 看護学科

PI-5 農山村地域で生活する高齢者の生活意識に関する研究

○石橋 文枝

常翔学園 摂南大学 看護学部

PI-6 限界集落に在住の独居男性高齢者の食生活について

○栗本 一美、金山 時恵

新見公立大学 看護学部看護学科

PI-7 尿失禁を経験した地域在住高齢女性の対処行動

○西村(野尻) 和美

福岡大学医学部看護学科

- PJ-1 介護支援専門員による訪問介護や訪問看護とのチーム活動の実践と  
チームメンバーに関わる情報入手との関連  
○綾部 貴子<sup>1</sup>、松井 妙子<sup>2</sup>、原田 由美子<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>梅花女子大学短期大学部生活科学科、<sup>2</sup>香川大学部医学部看護学科、  
<sup>3</sup>京都女子大学家政学部生活福祉学科
- PJ-2 外来で継続治療を受けながら疼痛管理をするがん患者への専門看護師の  
チーム調整プロセス  
○飯塚 由美子、本田 芳香  
自治医科大学 看護学部
- PJ-3 在宅における精神疾患をもつがん患者の看取り～多職種連携の課題～  
○菊地 千香<sup>1</sup>、後藤 順子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>訪問看護ステーションきずな、<sup>2</sup>山形県立保健医療大学看護学科
- PJ-4 退院支援における病院看護師と訪問看護師の連携について—訪問看護師の語りに  
焦点をあてて—  
○大槻 久美  
東北文化学園大学医療福祉学部
- PJ-5 訪問看護・訪問介護におけるケア情報の共有に関する実態調査—訪問介護事業所を  
対象として—  
○小笠原 映子、小野 恵子  
群馬パース大学 保健科学部看護学科
- PJ-6 文献にみる「Trans disciplinary team」の概念  
○松井 妙子<sup>1</sup>、綾部 貴子<sup>2</sup>、畑 吉節未<sup>3</sup>、原田 由美子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>香川大学医学部看護学科、<sup>2</sup>梅花女子大学短大部、<sup>3</sup>神戸常盤大学健康科学部、  
<sup>4</sup>京都女子大学生生活福祉学科
- PJ-7 地域・病院が協働で展開する在宅移行支援システムの構築に向けて 1  
: A地区における在宅移行支援の課題  
○小原 弘子、川上 理子、森下 安子、森下 幸子  
高知県立大学看護学部
- PJ-8 地域・病院が協働で展開する在宅移行支援システムの構築に向けて 2  
: A地区における在宅移行支援システムの開発  
○川上 理子、小原 弘子、森下 安子、森下 幸子  
高知県立大学看護学部

PJ-9 介護職が捉える「看護の専門性」と「よい看護職」

○深谷 由美<sup>1</sup>、田村 博子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>愛知きわみ看護短期大学、<sup>2</sup>医療法人マックス

PJ-10 介護支援専門員が抱く訪問看護のイメージ

○宮城 和美、荒木 晴美、炭谷 靖子

富山福祉短期大学 看護学科

PJ-11 第2報 介護支援専門員が抱く訪問看護のイメージ-訪問看護の利用の有無とイメージとの関連-

○荒木 晴美、宮城 和美、炭谷 靖子

富山福祉短期大学 看護学科

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 14:30~15:00

第3群『在宅看護と質管理』

看護管理[10題]

PK-1 グループホーム管理者の人材育成に関する悩みの構造

○小林 裕美

日本赤十字九州国際看護大学 看護学部 看護学科 在宅看護

PK-2 施設と在宅の比較による介護支援専門員の業務の特徴

○影山 佳奈<sup>1</sup>、小野 ミツ<sup>2</sup>、住居 広士<sup>3</sup>、坂井 晶子<sup>4</sup>、國定 美香<sup>3</sup>、稲田 有希<sup>3</sup>

<sup>1</sup>九州大学大学院医学系学府保健学専攻博士後期課程、<sup>2</sup>九州大学大学院医学研究院、

<sup>3</sup>県立広島大学大学院、<sup>4</sup>サンキ・ウエルビィ株式会社

PK-3 看護的負荷の高い訪問看護利用者の特徴～第1報 看護的負荷11項目の有用性の検証～

○河野 潤子<sup>1</sup>、石川 孝子<sup>2</sup>、小林 麻奈<sup>1</sup>、福井 小紀子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)ミレニア訪問看護事業部、<sup>2</sup>日本赤十字看護大学 地域看護学

PK-4 看護的負荷の高い訪問看護利用者の特徴～第2報 同一法人6事業所の訪問看護利用者における看護的負荷レベルと報酬との関連～

○小林 麻奈<sup>1</sup>、石川 孝子<sup>2</sup>、河野 潤子<sup>1</sup>、福井 小紀子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>(株)ミレニア訪問看護事業部、<sup>2</sup>日本赤十字看護大学 地域看護学

PK-5 看護的負荷の高い訪問看護利用者の特徴～第3報 利用保健別時間当たり報酬額の関連要因～

○石川 孝子<sup>1</sup>、河野 潤子<sup>2</sup>、小林 麻奈<sup>2</sup>、福井 小紀子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>日本赤十字看護大学大学院 地域看護学 博士後期課程、<sup>2</sup>(株)ミレニア訪問看護事業部、

<sup>3</sup>日本赤十字看護大学 地域看護学

- PK-6 訪問看護ステーションにおける医療事故・ヒヤリハット・クレームの  
定期的な集計に関連する要因  
○柏木 聖代<sup>1</sup>、緒方 泰子<sup>1</sup>、大山 裕美子<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学、<sup>2</sup>東京医科歯科大学
- PK-7 訪問看護師の職務継続意向に関連する要因 個人属性と働く喜びに焦点をあてて  
○御厩 美登里  
札幌市立大学 看護学部 在宅看護学領域
- PK-8 訪問看護師の職業継続意思に関連する要因の検討  
○落合 佳子<sup>1</sup>、塩澤 百合子<sup>1</sup>、竹田 昌子<sup>2</sup>、齋藤 恵子<sup>1</sup>、郷間 悦子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国際医療福祉大学保健医療学部看護学科、<sup>2</sup>西那須野マロニエ訪問看護ステーション
- PK-9 東日本大震災を関東地区で体験した訪問看護師が必要と考える災害対策  
○益井 育子  
帝京平成大学 ヒューマンケア学部 看護学科
- PK-10 喀痰吸引等研修に参加した介護職員等の医行為実施上の困難点  
○林 一美<sup>1</sup>、川島 和代<sup>1</sup>、田中 克恵<sup>2</sup>、中山 晴恵<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>石川県立看護大学、<sup>2</sup>金城大学社会福祉学部、<sup>3</sup>石川県立看護大学大学院

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 14:30~15:00

第3群『在宅看護と質管理』

在宅看護教育[10題]

- PL-1 在宅療養環境アセスメントのための視聴覚教材の開発  
○吾郷 ゆかり、落合 のり子、阿川 啓子、三原 かつ江、吉松 恵子  
島根県立大学 看護学部
- PL-2 在宅看護学実習中に行うロールプレイング演習の臨地実習での活用  
○仁科 祐子<sup>1</sup>、谷垣 静子<sup>2</sup>、乗越 千枝<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>鳥取大学医学部保健学科 地域・精神看護学講座、<sup>2</sup>岡山大学大学院保健学研究科
- PL-3 新卒者の訪問看護師就職に関する看護系大学在宅看護学教員の意識  
○乗越 千枝<sup>1</sup>、谷垣 静子<sup>1</sup>、長江 弘子<sup>2</sup>、酒井 昌子<sup>3</sup>、片山 陽子<sup>4</sup>、岡田 麻里<sup>5</sup>、  
仁科 祐子<sup>6</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学大学院保健学研究科、<sup>2</sup>千葉大学大学院看護学研究科、<sup>3</sup>聖隷クリストファー大学、  
<sup>4</sup>香川県立保健医療科学大学保健医療学部、<sup>5</sup>広島県立大学保健福祉学部、  
<sup>6</sup>鳥取大学医学部保健学科
- PL-4 家族看護を効果的に学ぶための授業実践と評価 『私が家で生きているということ』  
の教材を用いて  
○磯邊 厚子、桶河 華代、川嶋 元子  
聖泉大学看護学部

- PL-5 統合カリキュラムにおける在宅看護論実習の現状と課題 看護技術チェック  
リストの分析から  
○古賀 佳代子、山田 小織  
福岡大学医学部看護学科
- PL-6 学生ボランティアによる生活・介護予防支援サポーターの役割  
○人見 裕江<sup>1</sup>、藤田 敦子<sup>2</sup>、原田 俊子<sup>1</sup>、高橋 篤信<sup>1</sup>、中村 陽子<sup>3</sup>、久山 かおる<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>宝塚大学、<sup>2</sup>近大姫路大学、<sup>3</sup>園田学園女子大学、<sup>4</sup>梅花女子大学
- PL-7 在宅看護実習における学生の学び - 第2報 - 看護学生がとらえた在宅看護の特性  
○綾部 明江、鶴見 三代子、長澤 ゆかり  
茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科
- PL-8 中国の病棟看護師における退院支援実施の現状と課題  
○鮑 静<sup>1</sup>、谷垣 静子<sup>1</sup>、長江 弘子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学大学院保健学研究科、<sup>2</sup>千葉大学大学院看護学研究科
- PL-9 実践事例を用いた認定看護師による退院・在宅療養支援研修会の実施と評価  
○照井 レナ<sup>1</sup>、吉田 美幸<sup>2</sup>、大宮 剛<sup>2</sup>、野中 雅人<sup>2</sup>、岩崎 真実<sup>2</sup>、本村 勅子<sup>2</sup>、  
黒崎 明子<sup>2</sup>、上田 順子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>旭川医科大学医学部看護学科在宅看護学領域、<sup>2</sup>旭川医科大学病院 看護部
- PL-10 韓国都市部における老人福祉館を利用する高齢者の地域への愛着と生活機能  
○徳山 ちえみ<sup>1</sup>、人見 裕江<sup>2</sup>、中村 陽子<sup>3</sup>、金 玄勲<sup>4</sup>、金 東善<sup>4</sup>、  
足立 厚子<sup>5</sup>、原田 俊子<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>玉野総合医療専門学校、<sup>2</sup>宝塚大学、<sup>3</sup>園田学園女子大学、<sup>4</sup>韓国社会福祉法人幸福創造、  
<sup>5</sup>グリーンビラ夜久野

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 14:30~15:00

第3群『在宅看護と質管理』

在宅ケアとサービス[4題]

- PM-1 E-KANGO システム（遠隔看護）4年目の検証 保健師の視点から  
○スーディ神崎 和代<sup>1</sup>、菊地 ひろみ<sup>1</sup>、照井 レナ<sup>3</sup>、柿山 浩一郎<sup>2</sup>、  
福田 大年<sup>2</sup>、鹿内 あずさ<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>札幌市立大学看護学部、<sup>2</sup>札幌市立大学デザイン学部、<sup>3</sup>旭川医科大学看護学部、  
<sup>4</sup>天使大学看護栄養学部
- PM-2 在宅虚弱高齢者の生活上の課題と継続した予防訪問によるその解消状況  
○海原 律子<sup>1</sup>、和泉 京子<sup>2</sup>、金谷 志子<sup>3</sup>、河野 あゆみ<sup>3</sup>、津村 智恵子<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>大阪府大東市保健医療部地域保健課、<sup>2</sup>大阪府立大学看護学部、<sup>3</sup>大阪市立大学医学部、  
<sup>4</sup>甲南女子大学看護リハビリテーション学部

PM-3 在宅療養高齢者の地域医療福祉の連携によるサービスの満足度に関する研究—第一報—

○横尾 誠一<sup>1</sup>、大町 いづみ<sup>1</sup>、森内 剛史<sup>2</sup>、中根 秀之<sup>3</sup>

<sup>1</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻看護学講座

<sup>2</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻理学・作業療法学講座

<sup>3</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻リハビリテーション学講座

PM-4 高齢者虐待の保護・分離対応に必要な地域包括支援センター専門職の介入技能

○大越 扶貴<sup>1</sup>、塚崎 恵子<sup>2</sup>、表 志津子<sup>2</sup>、田中 敦子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>三重県立看護大学看護学部、

<sup>2</sup>金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科学領域地域・環境保健看護学分野

<sup>3</sup>東洋大学人間科学総合研究所

ポスター掲示時間 10:00~15:30

質疑応答時間 14:30~15:00

第3群『在宅看護と質管理』

在宅ケアとQOL[3題]

PN-1 成人前期の術後乳がん患者のQOLの実態とそれに関連する要因

○谷野 多見子、山田 和子、森岡 郁晴

和歌山県立医科大学 保健看護学部

PN-2 高齢期の生き方と友人関係 - ケアハウス入居後の女性高齢者の場合 -

○鈴木 依子

京都女子大学 家政学部 生活福祉学科

PN-3 在宅介護者における健康関連QOLの変化：6年間の縦断研究

○星野 純子<sup>1</sup>、堀 容子<sup>2,3</sup>、清水 律子<sup>3</sup>

<sup>1</sup>公立大学法人岐阜県立看護大学看護学部、<sup>2</sup>ケアラーサポート研究会代表、

<sup>3</sup>元名古屋大学大学院医学系研究科

## D 会場（会議室 202・203）

交流集会 B-3

『千葉県における小規模訪問看護事業所支援の試み～訪問看護電子カルテ「千葉県看護協会版

訪問看護ソフト」の開発を通して～』

（会議室 202・203）12:10~13:00

鈴木 朋子（公益財団法人千葉県看護協会）

山木 まさ（公益財団法人千葉県看護協会）

権平 くみ子（公益財団法人千葉県看護協会）

松永 敏子（公益財団法人千葉県看護協会）